

変化と成長に挑む
戦略パートナー

第**54**期 中間ご報告

2015年4月1日 ~ 2015年9月30日



経営理念

タナベ経営は、企業を愛し、
企業とともに歩み、企業繁栄に奉仕し、
広く社会に貢献すべく超一流の信用を軸とし、
国際的視野に立脚して無限の変化に挑み、
常にパイオニアとして世界への道を拓く。

Management Philosophy

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社、第54期第2四半期(2015年4月1日から2015年9月30日まで)の事業内容等をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期は、「ビジョン2020 変化と成長」を基本方針に掲げ、その実現に向けて、以下の通りの施策を部門ごとに行なってまいりました。

経営コンサルティング事業では、チームコンサルティング契約数の増加、単価アップなどにより安定した収益を実現しました。ファーストコールカンパニーフォーラムなどの各種セミナーの動員活動強化による新規顧客の増加や戦略ドメイン&マネジメント

研究会の拡充により顧客基盤の拡大に努めてまいりました。

また全国の地域金融機関・会計事務所等のアライアンス(提携)先を拡大し、提携先の人材育成サービス、地域の後継者を育成する勉強会(経営塾)、講演会への講師派遣などサービスの充実に努めてまいりました。

セールスプロモーション(SP)コンサルティング事業では、若い女性や幼稚園・育児マーケットを中心としたSPコンサルティング提案により顧客基盤を拡大してまいりました。マーチャндаイジング・OEMにおきましても、商品の開発・支援では、販売チャネルやルート開拓を実施してまいりました。

経済環境としては、米国の利上げや中国・新興国経済の減速など、海外景気に対する下振れ懸念、物価上昇などによる個人消費低迷が見られるものの、企業業績や雇用・所得環境の改善など景気は緩やかに回復基調が続いております。そのような中、当社は「変化と成長に挑む戦略パートナー」として引き続き、顧客最適の全社チームコンサルティングで「ファーストコールカンパニー -100年先も一番に選ばれる会社」の創造をミッションとし、支援に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2015年11月

To Our Shareholders



代表取締役社長

若松 孝彦

Takahiko Wakamatsu

2345
7890

数字で見るタナベ経営

創業**58**周年

1957年10月16日
創業



25,000人
以上

幹部候補生
スクール修了生数(累計)

148提携先

2015年9月度
金融機関・会計事務所との
アライアンス(提携)先数

6,857人

2014年度
セミナー参加実績



5,000社
以上

創業以来の
コンサルティング社数



約3,500社

セールスプロモーション(SP)
コンサルティング事業
2014年度
直接法人顧客

10,000社
以上

マネジメントパートナーズ本部
有料会員数



コンサルティング戦略本部 〔戦略コンサルティング〕

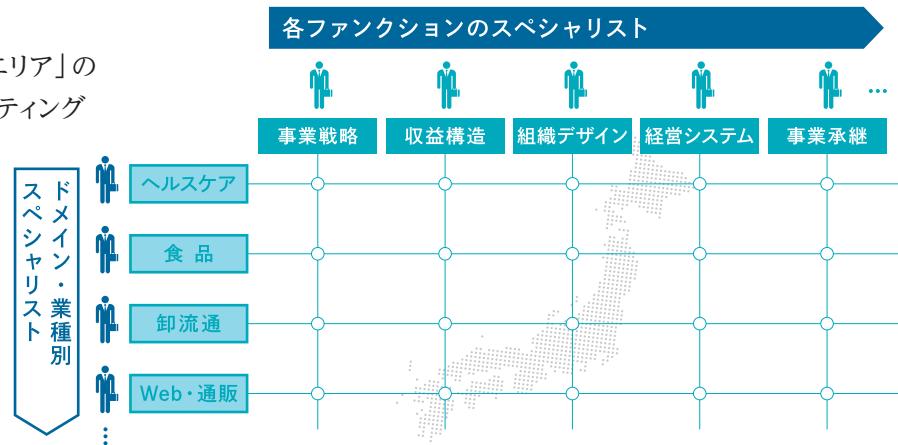
Consulting

○ファンクション(経営機能)：事業戦略・収益構造・組織デザイン・経営システム・事業承継等のファンクションにおけるスペシャリストを顧客最適の視点でチーム編成し、的確な戦略コンサルティングを提供しております。

○ドメイン(業種別)：ドメインのスペシャリストで編成されたチームが、業界特有の戦略メソッドを駆使し、固有の戦略課題を解決しております。

○エリア(全国展開)：国内主要10都市のファーム(拠点)に駐在する地域特性を熟知したコンサルタントが、全国ネットワークを活かした地域密着型のチームコンサルティングを推進しております。

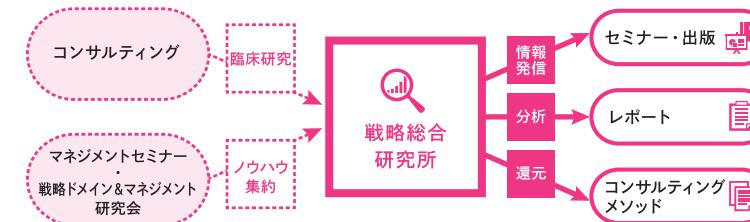
○主に中堅企業を対象に、「ファンクション×ドメイン×エリア」のチーム編成で戦略コンサルティングを提供しております。



戦略総合研究所

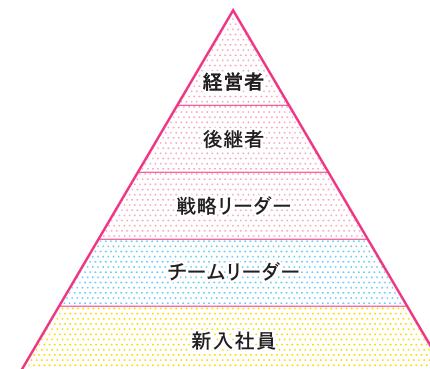
Strategic Lab.

○戦略や経営の研究機関として、コンサルティング、戦略ドメイン&マネジメント研究会、人材開発などのノウハウを集約・分析し、セミナー・経営情報誌(FCC REVIEW)などを通じて企業・社会に還元していきます。



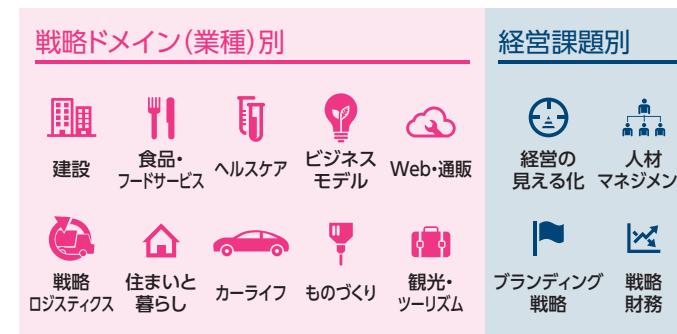
○マネジメントセミナー

新入社員から経営者までを育成する独自のセミナープログラムにより人材育成を支援しております。



○戦略ドメイン&マネジメント研究会

成長戦略やマネジメントメソッドを提供すべく、「ファーストコールカンパニー」の研究を日本全国、時に世界をフィールドに活動しております。





マネジメントパートナーズ本部 〔アライアンス&人材育成〕

Alliance &
Human Resource
Development

○全国の地域金融機関・会計事務所等とのアライアンス（提携）を通じて、アライアンス先やそのアライアンス先からご紹介いただいた顧客企業の人材育成をサポートします。

これまでに培ってきた経営戦略や人材育成のノウハウを提供することにより、「地方創生」につながる「地域経済の活性化」を支援しております。



○経営者向けの直接会員組織（イーグルクラブ・ニューリーダーズクラブ）を運営するとともに、これまで培ってきたコンサルティングノウハウを基に、オリジナルな経営情報を会員に発信しており、スマートフォン・タブレットにも対応しております。



SPコンサルティング本部 〔セールス&プロモーション〕

Sales
Promotion

○セールスプロモーションやプロモーションツール、マーチャンダイジングに特化したコンサルタントが、企業のセールスプロモーション課題・目的を精査した上で、プランニングから実施までワンストップで支援しております。

また、1959年発刊のビジネス手帳「ブルーダイアリー」をはじめ、オリジナル商品の企画開発・製作支援も行なっております。

プロモーションプランニング



- プロモーションマネジメント
- イベントプロモーション
- メディア・コンテンツプロモーション

プロモーションツール



- プレミアム・ノベルティ
- コミュニケーションツール
- デザイン制作

オリジナル商品開発支援



- OEM
- 商材・部材調達
- ライセンス&ブランドコラボ商品製作
- 販売チャンネル(ルート)開拓

流通卸



- タナペブランド商品の提供
- ノベルティ用部材調達

セールスプロモーション事例

牛乳石鹸共進社株式会社様： ロングラン商品に育児ママの「生の声」を反映

赤ちゃんとママの笑顔のバスタイムを応援する「キューピーベビーシリーズ」。育児サークルネットワークを活用した、販促強化をご提案・支援させていただいています。



Topic 1 ファーストコールカンパニーフォーラム



【テキスト】

2015年6月～7月、全国10会場で開催。

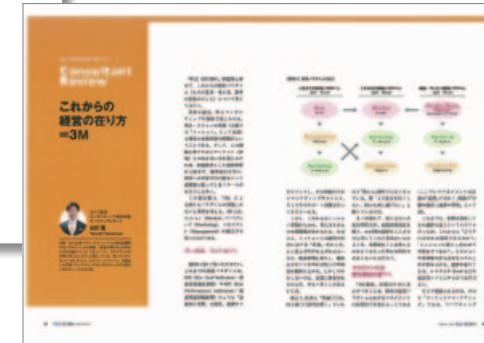
当社は、100年先もお客様から真っ先にお声がかかるような企業を「ファーストコールカンパニー」と定義しております。全国のファーストコールカンパニーを研究、創造する活動を続けており、この研究活動の集大成が、年に一度開催する『ファーストコールカンパニーフォーラム』です。100年先も一番に選ばれる会社を目指して、本年度は「高付加価値モデルへの挑戦」をテーマに「収益力」について、1,379名の経営者、経営幹部、後継経営者の方々にご参加いただきました。おかげさまで高い評価をいただいております。

Topic 2 情報誌『FCC REVIEW』新装刊！



【新情報誌】

100年先も一番に選ばれる会社を志すリーダーの情報誌



- 情報誌『DECIDE』『コンサルタントアイ』『経営視座』の三誌が、新たなビジネス情報誌として1冊にまとめられました。
- ファーストコールカンパニーを志す経営者、リーダーの方々向けの、戦略課題を解決するための知的で上質な「戦略パートナー誌」を目指しております。

Web site

FCC REVIEW.digital

イーグルクラブのコンテンツに加えて、ウェブ上やタブレット端末で、新情報誌『FCC REVIEW』の内容をご覧ください。



【電子書籍】



【ウェブサイト】

全日本私立幼稚園連合会様： 「こどもがまんなかPROJECT」

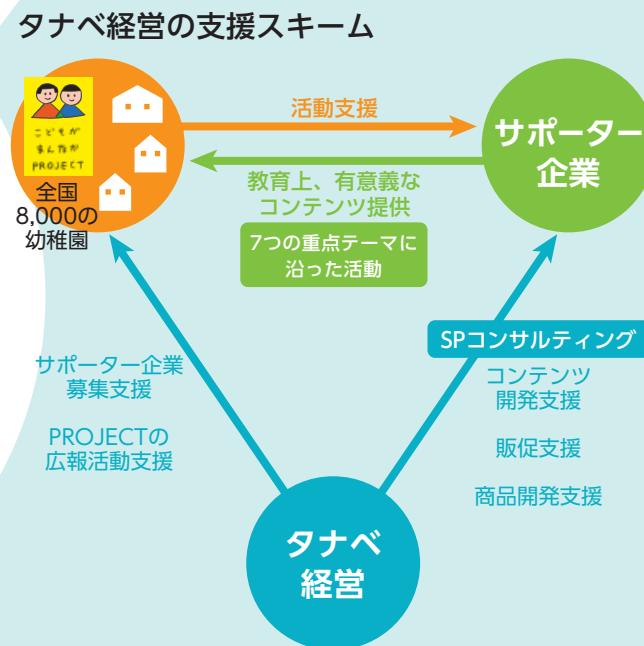


こどもにとって暮らしやすい社会づくりに向けた、
幼稚園と企業のタイアップを支援しております。

「こどもがまんなかPROJECT」とは

このプロジェクトは、全国8,000の私立幼稚園と、PTA、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構の3団体からなるものです。

こどもの立場に立ち、充実した子育て環境を作るべく、社会全体がこどものことを中心に考え、行動するという流れを生み出せるよう、私立幼稚園が一丸となって、様々な活動を推し進めています。



個人投資家向け説明会

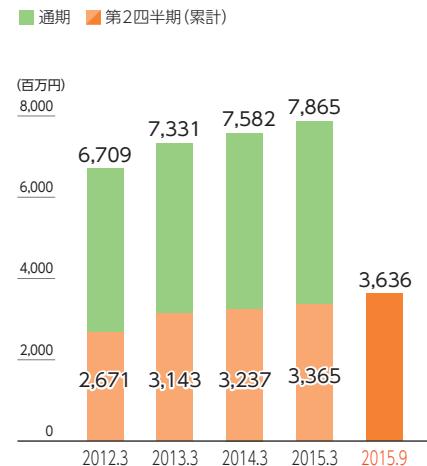
2015年9月1日(火)銀座キレイが丘 本館にて個人投資家向け説明会を開催しました。約160名の個人投資家のみなさまにご参加いただき、説明会では、会社概要、業績、株主還元などについてご説明しました。
今後も投資家のみなさまにご理解を深めていただける機会を設けてまいりたいと考えております。



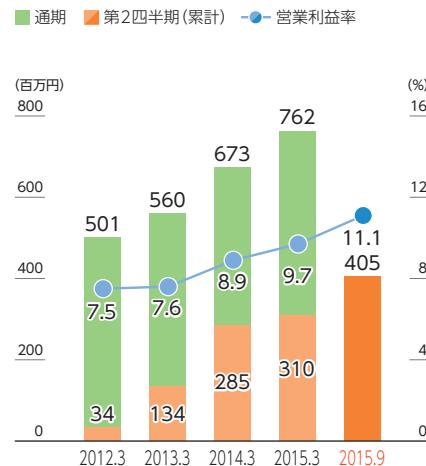
参加者アンケートご意見のご紹介

- 株主として株を保有しているので、安定した成長と手元資金の有効活用を期待しております。
- 日本経済の未来は若手社員の育成から始まる。大事な事業会社と感じました。
- 魅力ある堅実性のある会社とお見受けしました。投資対象として考えていきます。

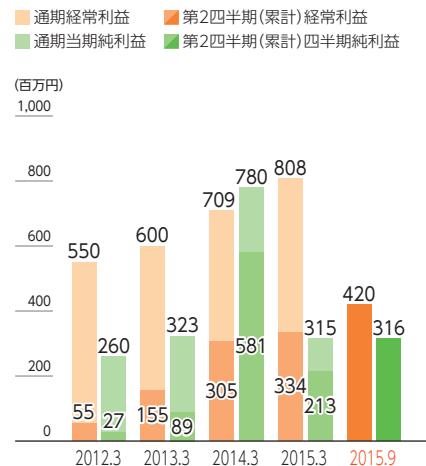
売上高



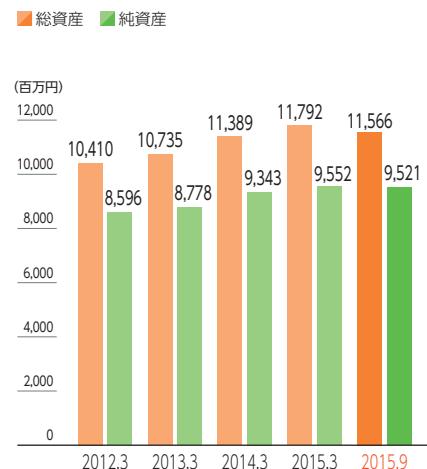
営業利益・営業利益率



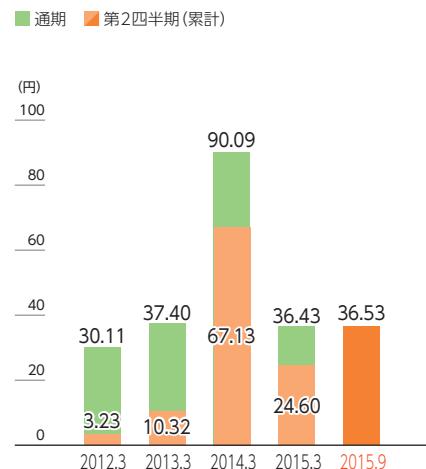
経常利益・四半期(当期)純利益



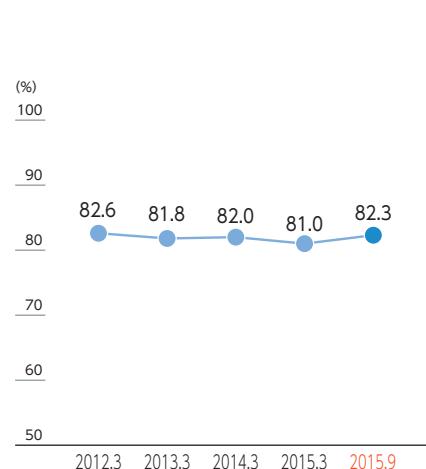
総資産・純資産



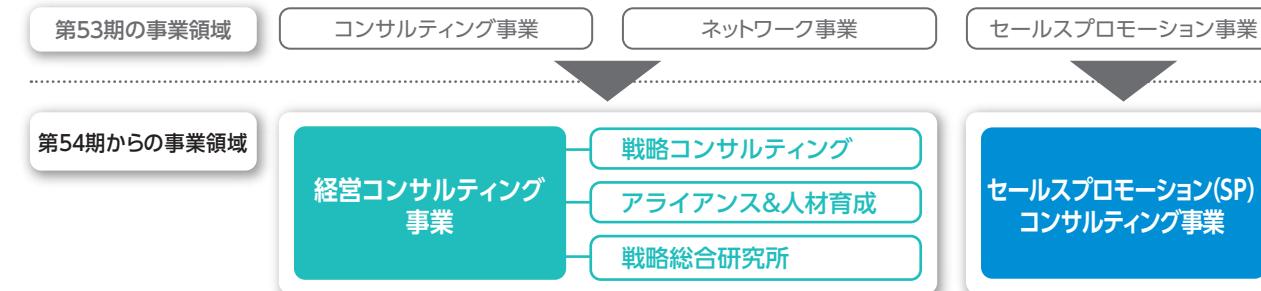
1株当たり四半期(当期)純利益



自己資本比率



当期より、報告事業の区分を変更しており、前年同期比較については、前期の数値を変更後の事業区分に組み替えた数値で比較しております。

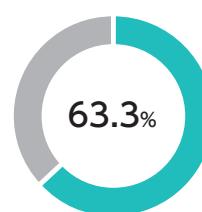


経営コンサルティング事業

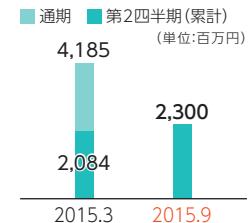
売上高 **23億00百万円** ↑ 前年同期比2億15百万円 (10.3%)の増加

主力のチームコンサルティング型経営協力をはじめ、戦略ドメイン&マネジメント研究会やセミナーも好調に推移し、トータル売上は上記の通り増加しました。

売上高構成比



売上高推移

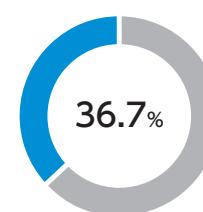


セールスプロモーション (SP) コンサルティング事業

売上高 **13億35百万円** ↑ 前年同期比54百万円 (4.3%)の増加

セールスプロモーションコンサルティングをはじめ、ノベルティ分野も好調に推移し、トータル売上は上記の通り増加しました。

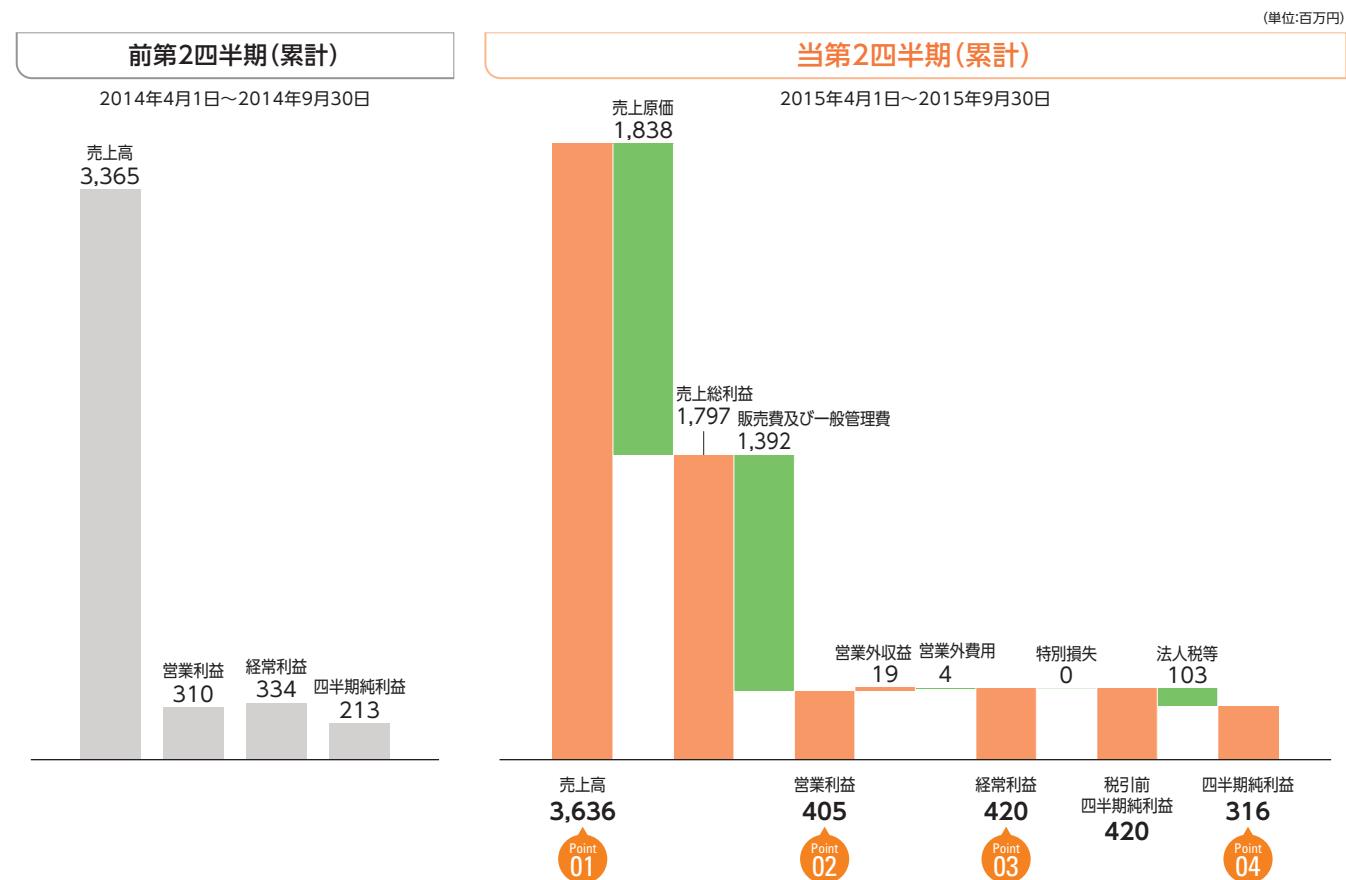
売上高構成比



売上高推移



損益計算書の概要



Point01 | 売上高

経営コンサルティング事業10.3%増加、セールスプロモーション(SP)コンサルティング事業4.3%増加となり、トータル8.0%の増加となりました。

Point02 | 営業利益

売上高増加が寄与し、また業務効率化にも努めた結果、30.5%の増加となりました。

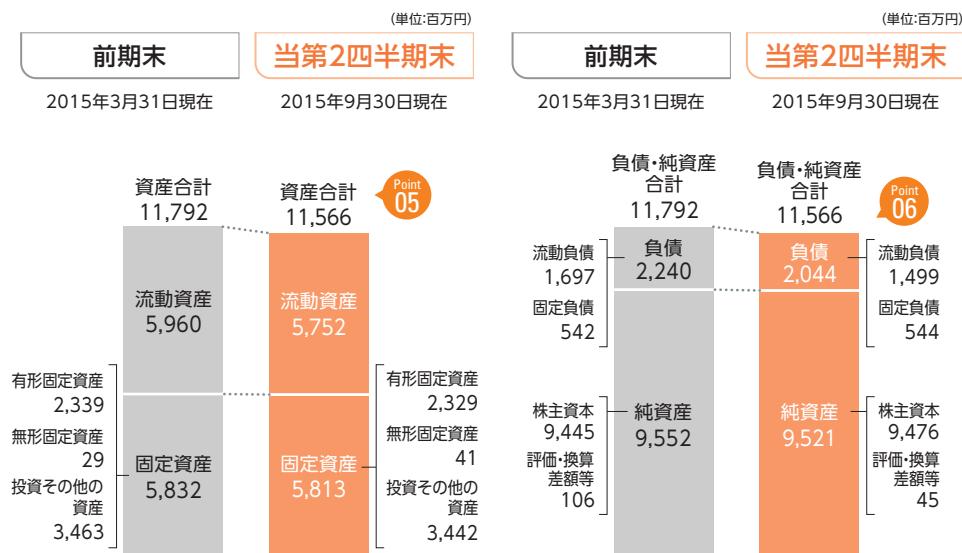
Point03 | 経常利益

営業利益の増加等により、25.5%の増加となりました。

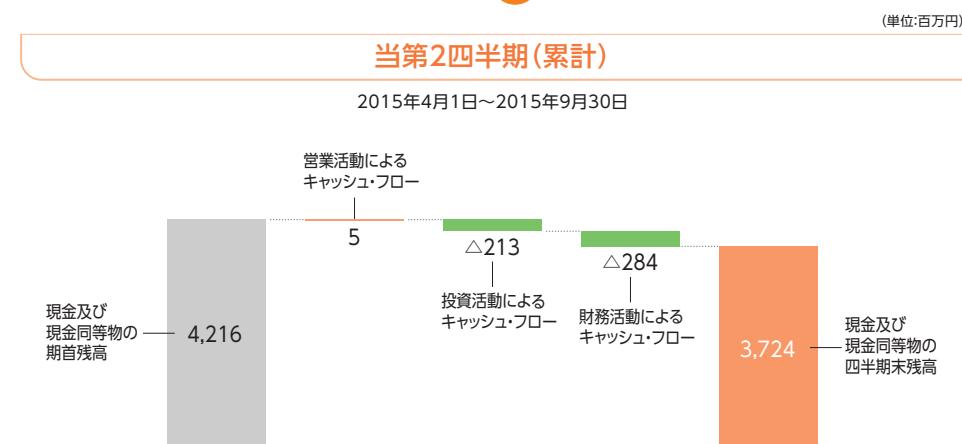
Point04 | 四半期純利益

経常利益が増加し、法人税等が14.8%の減少となったこと等により、48.5%の増加となりました。

貸借対照表の概要



キャッシュ・フロー計算書の概要



Point05 | 資産

流動資産は、配当金の支払等による現金及び預金の減少や受取手形及び売掛金の減少等により2億7百万円減少し、固定資産も、投資有価証券の減少等により18百万円減少したため、資産トータルでは2億25百万円の減少となりました。

Point06 | 負債

流動負債は、未払金や未払消費税の減少等により1億98百万円減少し、固定負債が、退職給付引当金の増加により2百万円増加したため、負債トータルでは1億95百万円の減少となりました。

Point07 | キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、未払金の減少や前渡金の増加等があったものの、税引前四半期純利益分の増加や売上債権の減少等があったため、トータル5百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、保険積立金への支出や長期預金への預入による支出等があったため、トータル2億13百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、トータル2億84百万円の支出となりました。以上の結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、37億24百万円となりました。

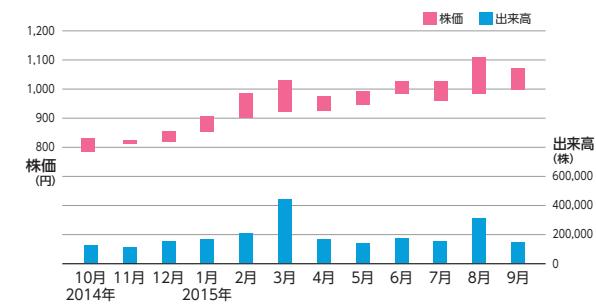
| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 35,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 8,754,200株 |
| 1単元の株式数 | 100株 |
| 株主数 | 10,359名 |

大株主の状況(上位10名)

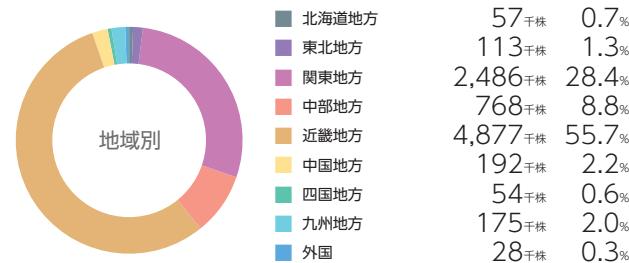
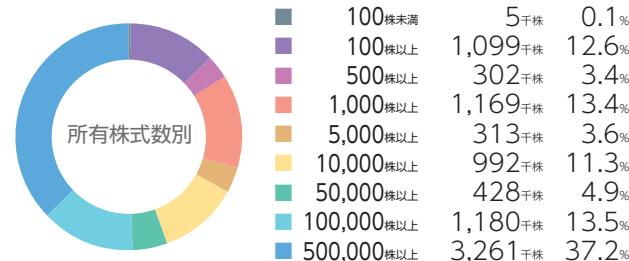
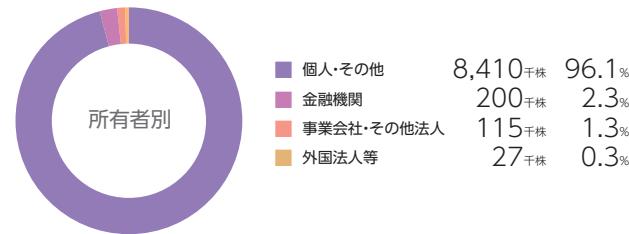
| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|---------------|------------|----------|
| 田 辺 昇 一 | 1,264 (千株) | 14.5 (%) |
| 田 辺 次 良 | 731 | 8.4 |
| 田 邊 洋 一 郎 | 676 | 7.8 |
| 樽 崎 十 紀 | 589 | 6.7 |
| タナベ経営取引先持株会 | 253 | 2.9 |
| 上 田 信 一 | 250 | 2.8 |
| タナベ経営社員持株会 | 247 | 2.8 |
| 木 元 仁 志 | 155 | 1.7 |
| 田 原 敏 男 | 144 | 1.6 |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 129 | 1.4 |

(注)持株比率は自己株式(90,889株)を控除して計算しております。

株価チャート



株式分布状況



商 号 株式会社タナベ経営
TANABE MANAGEMENT CONSULTING CO., LTD.
本 社 所 在 地 大阪市淀川区宮原3-3-41
ホ ー ム ペ ー ジ http://www.tanabekeiei.co.jp
創 業 1957年10月16日
設 立 1963年4月1日
資 本 金 1,772百万円
社 員 数 299名

役 員
代表取締役会長 田 辺 次 良
代表取締役社長 若 松 孝 彦 コンプライアンス担当
取締役副会長 木 元 仁 志
専 務 取 締 役 長 尾 吉 邦 コンサルティング戦略本部長
戦略総合研究所・SPコンサルティング本部担当
常 務 取 締 役 大 川 雅 弘 中部本部・北陸支社担当
常 務 取 締 役 中 村 敏 之 北海道支社・東北支社・新潟支社担当
常 務 取 締 役 南 川 典 人 九州本部・中四国支社・沖縄支社担当
取 締 役 中 東 和 男 マネジメントパートナーズ本部担当
取 締 役 仲 宗 根 政 則 東京本部長
取 締 役 藁 田 勝 大阪本部長
取 締 役 松 永 匡 弘 経営管理本部長
社 外 取 締 役 市 田 龍 市田龍公認会計士事務所 所長
京福電気鉄道株式会社 社外監査役
株式会社ダイセル 社外監査役
常 勤 監 査 役 中 野 廣 章
社 外 監 査 役 谷 宜 憲 弁護士
谷宜憲法律事務所 代表
オールワイ保険サービス株式会社
取締役社長
社 外 監 査 役 矢 崎 晴 久 櫻護謨株式会社 社外監査役

事 業 所 (2015年9月30日現在)
本 社 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41
TEL. (06)7177-4011
コンサルティング戦略本部
東 京 本 部 〒150-6034 東京都渋谷区恵比寿4-20-3
恵比寿ガーデンプレイスタワー34F
中 部 本 部 〒450-0002 名古屋市中央区名駅4-6-17
名古屋ビルディング5F
大 阪 本 部 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41
九 州 本 部 〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡12F
北 海 道 支 社 〒060-0005 札幌市中央区北5条西2-5
JRタワーオフィスプラザさっぽろ11F
東 北 支 社 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1
仙台トラストタワー15F
新 潟 支 社 〒950-0087 新潟市中央区東大通1-2-23 北陸ビル5F
北 陸 支 社 〒920-0856 金沢市昭和町16-1 ヴィサーージュ5F
中 四 国 支 社 〒730-0016 広島市中区鞆町13-4 広島マツダビル10F
沖 縄 支 社 〒900-0015 那覇市久茂地1-12-12
ニッセイ那覇センタービル10F
名古屋研修センター 〒481-0041 愛知県北名古屋市九之坪山73-1
戦略総合研究所 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41
マネジメントパートナーズ本部 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41
SPコンサルティング本部
[SP営業本部]
東京一・二・四課 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル5F
東京三課 〒330-0845 さいたま市大宮区仲町1-104 大宮仲町AKビル4F
大阪一課 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41
名古屋営業所 〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル6F
[MD営業部]
東京MD課 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル5F
大阪MD課 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41
[企画開発部] 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル8F
[管理部]
東京総務課 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル8F
大阪総務課 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 3月31日
確定日
中間配当金受領株主 9月30日
確定日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (フリーダイヤル)

上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ市場
公告の方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL
http://www.tanabekeiei.co.jp/koukoku/index.htm
ただし、やむを得ない事由により電子公告を行う
ことができない場合は、日本経済新聞に掲載いた
します。

お知らせ

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 当社では毎年9月30日現在、100株以上保有の株主のみなさまに当社の特製手帳を贈呈いたします。ご愛用いただければ幸いです。



有害廃液を排出しない
「水なし印刷方式」を採用しています。

 株式会社 タナベ経営

UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。

株主さま向けアンケート

株主のみなさまの声を お聞かせください

当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9644

いいかぶ

検索

 空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元
に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する
「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なし
にこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ
E-株主リサーチ事務局

TEL:03-5777-3900(平日10:00~17:30)
MAIL:info@e-kabunushi.com



環境にやさしい植物油
インキ(ベジタブルインキ)
を使用しています。